

企画展

# 映画の革命

## ポスター

The Revolutionary  
Film  
Posters of the  
Art Theatre Guild (ATG)

ATG [アート・シアター・ギルド] の挑戦

2020.4.1(水) ▶ 6.14(日)

企画展観覧料 一般: 200円(140円) 小・中学生: 100円(70円) ( )内は20名以上の料金



MOTHER JOANNA  
OF THE ANGELS

61年カンヌ国際映画祭審査員特別賞受賞

著ジェー・カワレロウィッチ監督 著ミエチスワフ・ウイット 著ルチーナ・ウイニツカ 主演

# 尼僧ヨアンナ

東和配給 ■ポーランド「カードル」プロ作品



## 企画展

The Revolutionary Film Posters of the Art Theatre Guild (ATG)

## 映画ポスターの革命

## ATG [アート・シアター・ギルド] の挑戦

あらゆる芸術分野でそれまでの価値観に対する異議申し立てが行われた1960年代、映画界でも既成の映画文法に囚われない作家性の強い作品が各国で同時多発的に生まれ、商業主義に立ち向かう新たな動きが起こりました。これらの現象に呼応する形で誕生したのがATG [日本アート・シアター・ギルド] です。

映画というジャンルの垣根を超えて野心溢れる作り手たちが集ったATGは、“映画ポスター”においても独自のコンセプトを打ち出し、宣伝という枠を超えて映画ポスターを芸術作品の域にまで高めました。粟津潔、横尾忠則ら当時の新進気鋭のアーティストが手がけたポスターは、高揚した時代を映し出す鏡となり、また映画ポスターを生業としてきたデザイナーたちにとっても、制約の少ないATGでの仕事は、実験的な表現の追求を可能にしてくれたのです。

本展では、そんな時代を切り開いたATGの映画ポスターをご紹介します。日本の映画ポスターデザインの歴史に大きく寄与したATGの試みは、まさに「映画ポスターの革命」だったと言えるでしょう。



## ATG [日本アート・シアター・ギルド] とは…

川喜多かしこらが推進した《日本アート・シアター運動の会》を前身とし、非商業的な芸術映画の公開を目的に1961年に設立。世界各地での“ヌーヴェルヴァーグ”の台頭を背景に、従来の映画館にはなかったコンセプトで独自の地位を築いた。

当初は外国映画の配給が中心だったが、60年代末からは日本映画の製作にも乗り出し、『一千万円映画』と呼ばれる低予算ながらも自由な映画作りの枠組みを提供。1992年に活動を停止するまでの間、新人作家からベテラン監督に至るまで、大手の映画会社にはない先鋭的な映像表現を追求する場となった。

表紙掲載ポスター(上から右下)  
 ※『作品名』(日本公開年/デザイナー名)  
 『尼僧ヨアンナ』(1962年/大島弘義)  
 『とべない沈黙』(1966年/大島弘義)  
 『気狂いピエロ』(1967年/藍野純治)  
 『薔薇の葬列』(1969年/朝倉摂)  
 『股旅』(1973年/小笠原正勝)  
 『エロス+虐殺』(1970年/檜垣紀六)  
 『串弥呼』(1974年/粟津潔)  
 『初恋:地獄篇』(1968年/宇野亞喜良)



『日本の悪霊』(1970年/TAB)



『ベトナムから遠く離れて』(1968年/檜垣紀六)

企画展  
関連イベント情報

4月18日(土)15時30分～

## 1968文化論

50年前の我々はこんなスゴイ映画を見ていた!

ゲスト 四方田犬彦 さん(映画史・比較文学研究)

1960年代は映画のみならず、デザイン/演劇/美術/音楽/漫画など様々な領域で革新的な試みが生まれた時代でした。ベトナム反戦運動や学生運動といった、社会の大きな転換点という意味でも「1968年」は象徴的なキーワードになっています。トークイベントでは、当時リアルタイムで時代の熱気を楽しんでいた四方田犬彦さんに、同時多発的に起こった文化の諸相と、その中に位置づけられるATG映画についてお話しいたします。

料金: 一般1000円、小・中学生500円

チケット発売日: 4月1日(日)

6月6日(土)14時～

## 体験的ATGポスターデザイン論

映画ポスターの熱い時代を生きた男

ゲスト 檜垣紀六 さん(映画広告図案士)

東宝アート・ビューロー(株)/現・TOHOマーケティング(株)所属のデザイナーとして、ATG公開全作品の約3分の1ものポスターデザインを手掛けた檜垣紀六さん。檜垣さんにとってATGの仕事とはどんなものだったのでしょうか。1960～70年代の映画ポスター界を知り尽くしている檜垣さんに、ATGのポスター創りのコンセプトから、デザインワークの具体的なプロセス、業界の厳しい制約を乗り越えて生み出された工夫など、ご自身の長年の経験をあますところなく語っていただきます。

料金: 一般1000円、小・中学生500円

チケット発売日: 5月16日(日)

# 企画展関連上映

## 1 かくも長き不在

(デジタル修復版) \*日本公開:1964年

4月14日(火)14時~、16日(木)14時~、  
17日(金)14時~ \*映画談話室、19日(日)10時半~

1961年 / 仏=伊 / 白黒 / 98分 / Blu-ray  
監督:アンリ・コルビ 脚本:マルグリット・デュラス、ジェラルド・ジャロロ 出演:アリアド・ヴァリ、ジョルジュ・ウィルソン、ジャック・アルダン

夏のヴァカンスが始まったパリの町に、記憶を失った一人の浮浪者がやってくる。カフェを経営するテレーズは、戦争から帰らなかった最愛の人だと思ひ…。カンヌ映画祭最高賞受賞作にして、詩的リアリズムを宿した美しき傑作。



© 1960 PROCINEX (Paris), CINEMATOGRAPHIQUE LYRE (Paris), GALIATEA (Roma)  
© 2000 CINEMATOGRAPHIQUE LYRE (Paris)

## 2 去年マリエンバートで

(4Kデジタル・リマスター版) \*日本公開:1964年

4月15日(水)14時~、18日(土)13時~、  
19日(日)14時~

1961年 / 仏=伊 / 白黒 / 95分 / DCP  
監督:アラン・レネ 脚本:アラン・ロブ＝グリエ 出演:アルフィヌス・セイリグ、ジョルジュ・アルベルタツツイ、サッシュ・ピトエフ

マリエンバートは国籍不明の地、時代も場所も分からぬ出口なき迷宮。デルフィヌス・セイリグが身にまとうドレスはココ・シャネルのデザインで、エレガントなその衣裳は「ドレス・ア・ラ・マリエンバート」と呼ばれた。



© 1960 STUDIOCANAL - Argos Films - Cineriz

## 3 気狂いピエロ

(デジタル・リマスター版) \*日本公開:1967年

5月19日(火)14時~、21日(木)14時~、  
23日(土)14時~、24日(日)10時半

1965年 / 仏=伊 / カラー / 110分 / Blu-ray  
監督:ジャン＝リュック・ゴダール 脚本:ジャン＝リュック・ゴダール 出演:アンナ・カリーナ、ジャン＝ポール・ベルモンド、サミュエル・プラー

ゴダールのミュージズとして1960年代のフランス映画界を象徴する存在となった女優アンナ・カリーナ。即興的な演出、映画文法からの逸脱、大胆な色使いなど、ベルモンドと共演した本作にてヌーヴェルヴァーグここに極まれり。



© StudioCanal

## 4 薔薇の葬列

1969年 / 松本プロ+ATG / 白黒 / 107分 / 35mm  
監督:脚本:松本俊夫 美術:朝倉慎 出演:ピーター、土屋嘉男、小笠原修、東恵美子

5月20日(水)14時~、22日(金)14時~、  
24日(日)14時~

1969年の新宿を舞台に、現代のオィディプス神話が虚実入り混じる実験的な手法で描かれる。本作でデビューした当時16歳のピーターはカリスマ的な美少年ぶりをスクリーンに焼き付けた。名だたる文化人たちの特別出演も見逃せない。



© 1969 Matsumoto Production  
配給:タグレオ出版

## 5 絞死刑

5月29日(金)14時~、30日(土)14時~ \*映画談話室  
31日(日)14時~

1968年 / 創造社+ATG / 白黒 / 119分 / 35mm  
監督:脚本:大島渚 脚本:田村孟、佐々木守、深尾道典 出演:佐藤慶、渡辺文雄、小山明子、尹隆道

1958年に起きた小松川事件を題材に、在日朝鮮人差別や国家暴力としての死刑制度を告発した、時代を象徴する大島渚の代表作。ATGは本作より低予算の《一千万円映画》と呼ばれる自主製作を開始、次のステージへの移行を果たした。



© 大島渚プロダクション

## 6 お葬式

6月9日(火)14時~、11日(木)14時~、  
13日(土)14時~ \*映画談話室、14日(日)10時半~

1984年 / NCP+伊丹プロ / カラー / 124分 / 35mm  
監督:脚本:伊丹十三 出演:山崎努、宮本信子、菅井きん、大滝秀治、笠置衆

伊丹十三の初監督作品。お葬式という異色の題材ながら、初めての経験に家族が右往左往する様子をコミカルかつ風刺的に描き大ヒットを記録、その年の国内の映画賞を総なめにした。老齢に達した往年の名優たちの登場も見どころ。



© 伊丹プロダクション

## 7 青春の殺人者

6月10日(水)14時~、12日(金)14時~、  
14日(日)14時~

1976年 / 今村プロ+綜映社+ATG / カラー / 132分 / 35mm  
監督:長谷川和彦 原作:中上健次「蛇淫」 出演:水谷豊、原田美枝子、内田良平、市原悦子

実在の親殺し事件をもとにした中上健次の小説を大胆に映画化。ゴダイゴの音楽や主演2人の若いエネルギーがほとばしり、多くの映画人に衝撃を与えた傑作。監督デビュー作としては異例のキネマ旬報ベスト・テン第1位。



© 1976 今村プロ / 英宝

### 企画展

一般 200円(140円) 小・中学生 100円(70円)

※( )内は20名以上の団体料金 ※映画鑑賞料金は別途

### 映画鑑賞

一般 1000円 小・中学生 500円

### 特別上映

一般 1600円 小・中学生 800円

\*チケット提示で企画展もご覧いただけます。  
\*チケット完売の場合はご入場いただけません。(定員:51席)

### チケット発売 開始日

4月の上映作品 1~2 4月 1日(火)

5月の上映作品 3~5 4月 18日(土)

A~C

6月の上映作品 6~7 5月 16日(日)

### チケット取り扱い お問い合わせ先

川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500

\*島森書店・たらば書房でのチケットの取り扱いは3月末をもって終了しました。

\*作品により映像・音声が必要しも良好ではないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

## シネマセレクション 俳優 加藤茂雄

鎌倉在住、94歳の現役俳優・加藤茂雄さんの初主演作『浜の記憶』とATG映画の出演作『曾根崎心中』、また、鎌倉アカデミア演劇科1期としての歩みを知ることができる『鎌倉アカデミア 青の時代』を上映します。『浜の記憶』は、昨年材木座・光明寺以来の鎌倉凱旋上映! 加藤さんに関係者によるトークイベントも開催します。

### A 浜の記憶



2018年 / カラー / 52分 / Blu-ray  
監督:脚本:撮影:大嶋拓 出演:加藤茂雄、宮崎勇希、渡辺梓

俳優生活70周年を記念して製作された加藤茂雄の初主演作。鎌倉・長谷で暮らす93歳の漁師と20歳の若い娘とのひと夏の物語。監督の大嶋拓は鎌倉アカデミア演劇科教授、青江舜二郎の長男という縁から本作の製作に繋がった。

### B 鎌倉アカデミア 青の時代



2016年 / カラー / 119分 / Blu-ray  
監督:構成:撮影:大嶋拓 出演:鈴木清順、岩内克己、勝田久、加藤茂雄、川久保潔、劇団かかし座

昭和21(1946)年、材木座・光明寺に開校した鎌倉アカデミア(鎌倉大学校)。人間性豊かな教育を受けた卒業生たちが多彩な分野で活躍した。20余人に及ぶ関係者の貴重な証言や歴史的資料によってその全貌が浮かび上がる。

### C 曾根崎心中



1978年 / 行社社+木村プロ+ATG / カラー / 112分 / 35mm  
監督:脚本:増村保造 脚本:白坂依志夫 原作:近松門左衛門 出演:梶芽衣子、宇崎竜童、左幸子、井川比佐志、加藤茂雄

宇崎竜童の映画初主演作であり、梶芽衣子の演技が絶賛され、数々の賞を受賞した傑作。東宝の大部屋俳優として活躍してきた加藤茂雄が本家の主人役で出演。増村演出に応えた演技で、70年に渡るキャリアの代表作となった。

5月14日(火) 13:00~【特別上映】A+C+トーク  
5月15日(水) 10:00~ C 13:00~【特別上映】A+B+トーク

5月16日(木) 13:00~【特別上映】A+C+トーク  
5月17日(金) 10:00~ C 13:00~【特別上映】A+B+トーク

# 特別企画 春のシネマ・ウィーク

毎年GWの時期は、近年公開された話題作を上映してきましたが、今後は「シネマ・ウィーク」と題して、新作も含む話題作を皆さまにお届けしてまいります。今年のGWは2週間にわたり、様々な世代の方にお楽しみいただける特別企画です。

特別企画料金(展示観覧料含む)

一般 1200円

中学生以下 600円

チケット発売開始日：4月1日(金)

※『若おかみは小学生!』は家族割引あり(各料金から300円引き)

※『人生をしまう時間』はバリアフリー上映

(障がい者手帳をお持ちの方+介助者1名は半額料金)

バリアフリー上映は、視覚・聴覚に障がいをお持ちのお客様に音声ガイド・日本語字幕でお楽しみいただけます。詳細はお問い合わせください。

## 人生をしまう時間(とき)

(バリアフリー上映)

4月28日(金)10時30分～、30日(土)14時～\*映画談話室、5月4日(月)14時～、9日(土)14時～

2019/カラー/DCP/110分  
監督:下村幸子  
出演:小堀剛一郎、堀越洋一

NHKで放送され反響を呼んだドキュメンタリー番組の映画版。森鷗外の孫でもある80歳の小堀医師が、在宅の終末期医療の現場で、患者やその家族と共に数々の難題に向き合う日々を密着。見る者に人生の最期を問いかける。



© NHK

## ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス

4月29日(金)13時～、5月3日(火)13時～、6日(土)13時～、8日(日)13時～

2017年/米/カラー/205分/DCP  
監督:フレデリック・ワイズマン 出演:エルビス・コストロ、パティ・スミス、エドムンド・デ・ワール

世界中の図書館員が憧れる屈指の知の殿堂、ニューヨーク公共図書館の舞台裏をドキュメンタリー映画の巨匠ワイズマンが捉える。司書やボランティアの活動を通して、市民に開かれた図書館の幅広い役割とそれを支える理念に迫る。



© 2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved

## 私のちいさなお葬式

4月28日(金)14時～、5月2日(土)10時30分～、5日(月)14時～、8日(日)10時30分～

2017年/露/カラー/DCP/100分  
監督:ウラジーミル・コット 出演:マリーナ・ネコーロワ、アリサ・フレインドリフ、エヴゲーニヤ・ミロノワ

教職を全うし、年金暮らしのエレーナは突然の余命宣告を受ける。都会で仕事に忙殺されている息子に余計な心配をかけたくないと考え、自ら葬式の準備に奔走する姿をユーモラスに描く。モスクワ国際映画祭で観客賞を受賞。



© 000«KinoKlaster»2017r.

## 2人のローマ教皇

4月30日(土)10時30分～、5月1日(日)14時～、2日(月)14時～\*映画談話室、5日(木)10時30分～、7日(土)10時30分～、10日(月)10時30分～

2019年/英=伊=葡=米/DCP/125分  
監督:フェルナンド・メイレス  
出演:アンソニー・ホプキンス、ジョナサン・プライス

2012年、ローマ教皇ベネディクト16世と翌年教皇となるホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿の対話を通して、カトリック教会における歴史的転換点の裏側を描く。正反対の考えを持つ2人は、時間を共有する中で理解を深めていく。



## 若おかみは小学生!

4月29日(土)10時30分～、5月4日(月)10時30分～、6日(水)10時30分～、9日(土)10時30分～\*映画談話室

2018年/カラー/94分/DCP 監督:高坂希太郎 原作:令丈七郎子・亜沙美(絵) (講談社青い鳥文庫『若おかみは小学生!』シリーズ) 声:小林星蘭、水樹奈々、松田颯水

累計発行部数300万部を誇る人気児童文学シリーズをアニメーション映画化。交通事故で両親を亡くした小学6年生のおっこは、祖母の経営する旅館に引き取られる。不思議な仲間とともに、若おかみの修行に奮闘する少女の成長譚。



© 令丈七郎子・亜沙美(講談社)/若おかみは小学生!製作委員会

## 家族を想うとき

5月1日(日)10時30分～、3日(火)10時30分～、7日(土)14時～、10日(月)14時～

2019年/英=仏=白/カラー/100分/DCP  
監督:ケン・ローチ 出演:クリス・ヒッチェン、デビー・ハニウッド、リス・ストーン、ケイティ・プロクター

舞台はイギリスのニューカッスル。父はフランチャイズの宅配ドライバーとして独立、母は介護福祉士として働く。グローバル経済が加速している現代、さまざまな労働問題に直面しながら力強く生きる家族の姿が描かれる。



photo: Joss Barratt, Sixteen Films 2019

## ギャラリートーク&旧和辻邸見学ツアー

展示室と旧川喜多邸(旧和辻邸)を解説付きでご案内します。  
※雨天の場合は旧和辻邸の見学が中止となる場合があります。

4月10日(金) 4月11日(土) 4月24日(金) 4月25日(土) 5月8日(金)  
5月9日(土) 5月22日(金) 5月23日(土) 6月12日(金) 6月13日(土)  
各日13時～(約30分/要展示観覧料)



## 映画談話室

当館スタッフが進行役となり、上映作品の解説も盛り込みながら、映画について皆様と語り合う時間です。(約30分)  
ゲストの方にご登壇いただくこともあります。出入り自由ですので、ぜひお気軽にご参加ください。(要展示観覧料、定員51席)



## Kamakura City Kawakita Film Museum 鎌倉市川喜多映画記念館

TEL 0467-23-2500

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12  
HP <http://www.kamakura-kawakita.org>  
開館時間 9:00～17:00(入場は16:30まで)  
休館日 月曜日(5月4日は開館)

主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)  
※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 2020年度「友の会」会員募集中

会員特典

年会費:2,500円

- \* 映画チケットの電話予約が可能
- \* 千円分の映画チケットを2枚プレゼント
- \* 企画展観覧料がいつでも無料
- \* 企画展やイベントのチラシをご自宅に郵送

お申込み方法など、詳しくは記念館窓口にお問い合わせください。